

2020-2021 KAWAGUCHI ROTARY CLUB

川口 RC WeeklyReport

No.23

●オンライン例会 第2959回

●事務局

〒332-0012 川口市本町1-18-5 NTTビル1F
TEL 048-222-0124 FAX 048-222-0118
http://www.kawaguchi-rc.com
E-mail krc2770@plum.plala.or.jp



2020-21 年度
会長：増井 千恵子 幹事：杉山 直



国際ロータリー第2770地区
第11グループ



ロータリーは機会の扉を開く

あいさつ

増井 千恵子

2月7日までと予定されていた緊急事態宣言が延期され3月7日までとなりました。そして、一月末に決定と言われていた6月の台湾の国際大会は、皆様にお知らせを送りましたがバーチャルでの開催となりました。今回の緊急事態宣言で、地区のほとんどのロータリークラブが、会員が集まることができないので休会としています。これは、オンライン例会を開催する環境が整備されていないことが原因です。私達川口ロータリークラブも、緊急事態宣言で会員の顔合わせはできません。でも、ハイブリッド例会が開けなくても、また一徳さんを発信場所のオンライン例会に集まれなくても、それぞれの場所で参加できる環境を構築して、完全オンラインで約40人の方達が例会を行っています。ですから、休会を選ぶか、完全オンライン例会を選ぶかを判断して開催できているのです。参加が難しい方は、大竹IT委員長か杉山幹事に連絡いただき参加方法を練習してください。緊急事態宣言が解除されましたら、状況を見ながら開催方法を考えていきます。

ロータリー2月は「平和構築と紛争予防月間」です。ロータリーは世界交流を通じて、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通して平和な世界づくりを促進しています。①奉仕プロジェクトや②平和フェローシップなど様々な形で、平和促進する環境を作る活動が行われています。

★①の奉仕プロジェクト、ロータリーは様々な形の奉仕プロジェクトで平和を訴えています。特に、広島・長崎から平和を伝えるよう、戦争によって深い傷を負いながらも、現在は日本だけでなく世界の平和の象徴となっている広島・長崎この被爆地で、平和を発信する活動が続けられています。2019年11月にローマ教皇が38年ぶりに来日。長崎を訪れたローマ教皇が「平和のための集い」でランプに平和の火を灯す際、その火を渡したのが、インターアクターの内山くんでした。彼は、ローマ教皇に会うためにバチカンを訪れ、教皇に被爆地訪問をお願いした高校生の一人でした。彼の在学高校が被爆校です。原子爆弾によって壊滅状態となりました。その結果、職員9人、生徒130人の命が奪われました。歴代の学院長先生の下、原爆の惨状と平和の尊さを世界に訴え続けてきました。このような平和教育を受け、内山くんは世界平和への思いを強くして、核兵器廃絶と平和な世界実現を目指す活動に参加しています。高校生平和大使に選ばれ、スイスジュネーブにある国連に「高校生1万人署名」を届けました。また、ローマ教皇にお会いしたバチカンで、長崎のかつての惨状をお伝えすることができ、その時に「11月にお会いするのを楽しみにしています」と伝えたところ、訪日期間中の11月24日ローマ教皇が長崎を訪れて下さったのです。

★②番目の「ロータリー平和フェロー」とは、ポールハリス 没後50周年を記念してつくられた、平和づくりに貢献できる人材を育てるためのプログラムです。持続可能な平和の構築をビジョンとして掲げ、平和構築、紛争解決、紛争予防に貢献できる平和構築者の世界的ネットワークを築くために2002年にスタートしました。ロータリー平和センターで学ぶ学生は平和フェローと呼ばれ、奨学金が提供されます。研修、研究、実践を経て、平和と開発の分野で活躍する人材となります。現在は世界6カ国、7つの大学に平和センターがありますが、2021年1月から新たにウガンダの大学でも平和センターがスタートしています。日本にある国際基督教大学もそのうちの一つです。毎年約10人の平和フェローが入学し、国際問題研究に従事しています。ロータリー平和センターは、これまでに1100人以上の平和フェローが卒業し、現在ロータリーの重点分野に関連する活動を行っています。

平和フェローたちは、今、国際社会にどう貢献しているのでしょうか。

ロータリーの友 2020年2月号に、活躍する日本人の二人の平和フェローの紹介記事が掲載されていますから 興味ある方はぜひサイトのバックナンバーを読んでください。